

原発なくせ抗議行動ニュース

原発ゼロを求めるイレブン
アクション岡山実行委員会

NO. 25
2013.03.01

ブログ：<http://b.kenro.jp/> 連絡先：okakenro@mx1.tiki.ne.jp

電話：086-221-0133 fax：086-221-3595

原発建設めぐり住民投票 台湾福島事故で懸念増す

台湾の江宜樺行政院長（首相）は 25 日、1998 年に建設が始まったが、安全性への懸念が出ている第 4 原発に関し、建設を中止するかどうかを住民投票により決めると表明しました。江院長は「東京電力福島第 1 原発の事故後、台湾で第 4 原発の安全性への懸念が高まっている」と理由を説明しています。住民投票は 8 月末になる予定です。建設中の第 4 原発は日立製作所と東芝が原子炉圧力容器を供給しており、「日の丸原発」と呼ばれています。（2 / 26 沖タイム）

福島第 1 原発の指定廃棄物処分場 候補地選定やり直し

井上信治環境副大臣は 25 日の記者会見で、東京電力福島第 1 原発事故で発生した「指定廃棄物」の最終処分場候補地を選ぶ手続きに問題があったとして、栃木県矢板市と茨城県高萩市への提案をいったん取り下げ、選定をやり直すと表明しました。地元自治体との協議を重視した候補地選定の新たな方針も発表した。（2 / 26 沖タイム）

水豊かな山梨、農業用水で小水力発電

小さな水路で電気をつくる「小水力発電」山梨県が力を入れています。県の面積の 8 割が森林で水が豊かな特徴を生かし、「エネルギーの地産地消」をめざしています。2050 年ごろには、県民が使う電気すべてを水力や太陽光など県内の発電所でまかなうのが目標です。山梨県北杜市の清里高原近くを流れる農業用水「ろっかむらせき村山六ヶ村堰」の水路で、昨春から 3ヶ所の小水力発電所が動き始めました。これだけで、市内の世帯の 6%、約 1300 戸分の電気がつくれます。山梨県には県や市が運営するものも含めて、大小約 70 の小水力発電所があります。（2 / 25 山陽）

自治体の再稼働判断賛否割れる 6割が立場明確にせず

朝日新聞は原発事故に備えた地域防災計画にあたって全国 156 首長にアンケートを実施した中で再稼働に対する考えは賛否が割れたことを明らかにしました。賛否はほぼ並ぶ一方で、6割が立場を明確にせず、市民の安全と地域経済への影響、依然として不透明は国のエネルギー政策の狭間に立って悩む姿が浮き彫りになっています。再稼働に賛成は 30 人、反対派 33 人です。原発立地周辺自治体では賛成が 20 人、反対が 30 人となりました。（2 / 24 朝日）